

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 12 月 24 日作成)

小委員会名	省エネルギーと光環境小委員会		主 査 名：望月 悦子 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：古賀 靖子
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・2011 年 3 月の東日本大震災を機に取り組みられた節電照明の実態を踏まえ、より恒久的な Zero Energy Building の実現をめざし、積極的な照明の省エネルギー手法を考える。 ・光環境における省エネルギー手法をまとめ、効果の検証、問題点の抽出を行う。 ・光環境運営委員会傘下『照明環境基準検討 WG』と連携し、省エネルギー性と視環境性能のバランスを考えた評価を具体化する。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 望月悦子 (千葉工業大学)、伊藤大輔 (ものづくり大学)、伊藤清 (清水建設(株))、井上容子 (奈良女子大学)、岩田利枝 (東海大学)、加藤末佳 (金沢工業大学)、坂田克彦 (鹿島建設(株))、滝沢総 ((株)日建設計)、中村芳樹 (東京工業大学大学院)、中山和美 (東京電力)、平手小太郎 (東京大学大学院)、平松徹也 (旭硝子(株))、三木保弘 (建築研究所)、吉澤望 (東京理科大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2014 年度予算	54,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1.
講習会	1. 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 参加者数 名 2. 参加者数 名
大会研究集会	1. 参加者数 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 照明の省エネルギーを実践した事例紹介、省エネ達成のための諸技術について話題提供を各委員から行ってもらい、情報を共有した。 2. オフィス照明の消灯・減灯方法や、その光環境評価および意識を調査し、3年分のデータを収集、蓄積した。
委員会活動の問題点・課題	1. 照明の省エネルギー基準を検討するために必要な具体的な数値データが十分に収集できなかった。 2. 匿名性を確約した上で、実物件の消費エネルギーデータを各社から提供頂き、省エネ手法とその効果の分析を進める必要がある。

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	B
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>年に3~4回の委員会を開催し、各委員より毎回情報・話題提供を頂いた。最新の情報を共有化できたことは非常に意義ある活動成果と考える。しかし、照明の省エネルギーに関する具体的な数値基準を検討するのに必要なデータの収集は不十分であった。次年度以降、匿名性を確約した上で、実物件の消費エネルギーデータを提供頂けるメンバーを募り、『照明の省エネルギー評価小委員会』にて活動を継続したい。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。